

KHKからの
お知らせ

「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」の開催について



危険物施設における保安設備等への新技術の活用を目的に、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」（第6回）の **WEB 開催** について、お知らせします。

1 概要

近年、様々な分野で監視カメラ技術、ドローン技術、IoT 技術等の新たな技術が活用されています。

今後、危険物施設においても、これらの新技術を活用した保安設備等の導入や普及が見込まれることから、人の目に替わる点検手段、データを用いた危険予兆など、大規模危険物施設等における維持管理や災害早期発見についての方策として、これらの新技術を活用した保安設備等について意見交換を図ります。

2 実施内容

株式会社ビーエヌテクノロジー

「防爆型モバイル機器を使用した危険物施設における作業効率化と災害時における活用について」

危険物施設などの可燃性蒸気が滞留する恐れのあるエリア内で電子機器を使用する場合、防爆タイプの使用が求められています。今回は Zone1 まで使用出来る本質安全防爆タイプのモバイル機器を使った日々の点検業務などへの活用事例を取り上げて、その作業効率化についてご紹介します。

メーカーによるプレゼンテーション（約 50 分）、フリートーキングの時間（約 1 時間）

3 開催日時

日 時：令和4年 10月 25日（火） 14時～ 16時

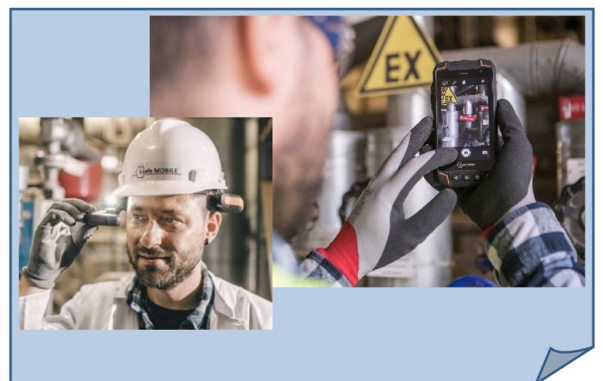
4 参加・傍聴方法

開催方法：WEB 開催（Cisco Webex Meetings）

参加費：無料

弊会ウェブサイトの申込みフォームから必要事項を入力の上、お申込み下さい。

後日、招待メールを送付させていただきます。



https://www.bn-technology.co.jp/product/hmt_1z1_1.htm
（株式会社ビーエヌテクノロジーのホームページより）

「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」申込みフォームはこちら ↓

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=Ih-pcobt-66390289cec1b87773d560a50a260b32>

（危険物保安技術協会ホームページ⇒業務説明⇒調査研究⇒次回新技術を活用した保安設備等に関する研究会への申込みについて⇒ [お申し込み](#) からでもお申込みできます。）

5 過去の事例紹介

令和元年度から研究会を立ち上げ、計5回開催しました。

前回の実施内容は、日揮株式会社による「ファストデジタルツインで既設プラントのDXを加速するINTEGNANCE VR」について、201名の方にご参加いただき、プラントでの活用方法や災害現場への展開について、意見交換が行われました。

全参加者数 201 名

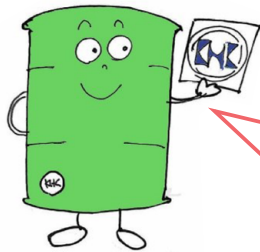
内訳：消防関係機関（19名）、事業所関係（172名）、その他（10名）

その他、過去5回の研究会発表内容について、協会ホームページでご紹介しています。

発表内容等の詳細についてはこちら <http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/research.html#ep01>

6 その他

WEB開催のため、どなたでも参加・傍聴可能ですが、既定の人数を超えた場合、調整させていただく場合がございます。



【お問い合わせ先】

危険物保安技術協会 企画部企画課 陣鎌・森

TEL 03-3436-2353 / FAX 03-3436-2251

E-mail kikaku@khk-syoubou.or.jp